

よこはまの四季を楽しむ情報誌

みどり

冬

No.151

よこはまのどうぶつえん
動物園の4つの役割



ホッキョクグマ

よこはま動物園ズーラシア
ズラッとウサギ展
～かわいだけじゃない
ウサギのヒミツ～
開催中!

令和5年 2/27(月)まで



トウホクノウサギ

※ホッキョクグマ、トウホクノウサギは、よこはま動物園ズーラシアの亜寒帯の森ゾーンで飼育しています。
現在、亜寒帯の森ゾーンは園路の補修工事のため封鎖しています。
動物の展示について、詳しくは公式ホームページをご確認ください。

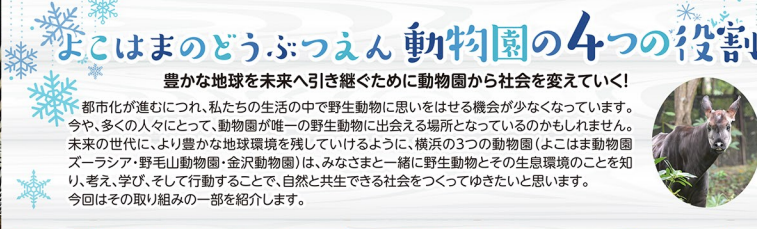


公益財団法人 横浜市緑の協会

Yokohama Greenery Foundation



野毛山動物園 金沢区金沢市野毛山にある野毛山動物園のゾウ



金沢動物園 金沢市金沢区金沢にある金沢動物園のクマ

1 出会いを感じる RECREATION

動物に魅せられ、共に生きることの
大切さを感じられる公園としての役割

小動物とのふれあい体験 (野毛山動物園)

動物園は世界中の様々な動物たちと「出会いを感じる」
ことができる場所です。野毛山動物園は「誰もが気軽に
訪れ、楽しめる動物園であり、小さな子どもがはじめて
動物に出会い、ふれあい、命を感じる動物園」をコンセプト
としています。園内の「なかよし広場」では、モルモット・
ハツナズミに直接触れることができます。

小さなお子さまにとってふれあい体験は、はじめて
他の命に触れて、その大切さや尊さに気づく貴重な機会
です。これは動物と共に生きる大切さを感じる第一歩と
もなる体験です。

また、大人にとっても動物の存在を再認識し、動物の
大切さについて考えることができる機会です。野毛山動物
園では、このふれあい体験を完全予約制とし、グルー
プごとに頭つづのモルモット・ハツナズミとじっくり
ふれあえる時間を作っています。

動物にも優しいふれあい体験を通して、今後も動物と
の「出会いを感じる」を提供していきます。



モルモットとのふれあ体験の様子



モルモットの(左から)
スコーピオン・ハツナズミ・コウキ

2 理解し学ぶ RESEARCH

動物に対する科学的な知識を深め、
その情報を市民と共有する役割

研究の成果でゾウの福祉向上 (金沢動物園)

動物園では、動物福祉に配慮した飼育管理が進められて
います。よりよい飼育方法を検討するためには、野生での生
態や飼育下での行動などについて調査・研究をし、動物を理
解することが重要です。

例えば、野生のゾウは皮膚を守るために砂や泥を頻繁に
浴びるため、金沢動物園では展示場に砂を入れたバケツは、
糞や砂を集めて体にかけるなど、野生と同じ行動を行う
ようになりました。他には、飼育下でのゾウの生活の質向上
のため、クラウドファンディングによってみなさまにご支援を
いただき、自動給水装置を設置しました。ゾウが近づくと水
が出る仕組みとなっており、いつでも新鮮な水を飲むことが
できます。

これらは、大学と共同で試行錯誤しながら動物に関する研
究を進め、ゾウの適切な飼育管理に役立ててきました。
今後も動物園が「理解し学ぶ」ことができる場として、様々
な取り組みやその成果をみなさまと共有していきます。



自動給水装置から
水を飲むゾウ



頻りに砂浴びをするゾウ

3 知り伝える EDUCATION

動物や生息環境のことを多くの人々に伝え、
行動につなげる役割

野生動物セミナー・動物ガイド

動物園で出会った動物や、その生息環境を知ること、は自
分自身と野生動物がどのようにつながっているかを知る機
会になります。横浜の3つの動物園では、その機会を作るた
め、毎年野生動物セミナーを開催しています。

昨年、よこはま動物園ズーラシアでは、「世界ライオンの
日」にちなんでケニアでのライオン保全活動、野毛山動物園
ではニューカドニアの絶滅危惧種カグーに関する動物園
での取り組み、金沢動物園では横浜に生息するカルル類の
保全活動について、それぞれ外部講師の方々に講演いた
だき、野生動物を守るために自分自身に何ができるかを一
緒に考える機会となりました。

また、日々開催している飼育員の動物ガイドでは、生きてい
る動物を前に、その特徴や生態の不認識などを分かりやく
伝え、野生動物に思いをはせるきっかけ作りを行っています。
今後も動物園で考えたことを「知り伝える」ことで、地球
環境を守ることを大切さを伝えつなげる役割を分かち合
います。



セミナーの様子
(よこはま動物園ズーラシア)



動物ガイドの様子
(野毛山動物園)

4 守り続ける CONSERVATION

世界と手を取り合って野生動物を計画的に
守ってゆく役割

世界と協力した希少動物の繁殖

人間活動の拡大により、生物多様性は急速に失われ
ています。絶滅の危機にある野生動物を守るには、国内
外の動物園が連携し、動物福祉も考慮しながら長期的
な保全計画を立て同じ種の動物たちの数を維持する必要
があります。

横浜の3つの動物園ではオカビダグレイマウマ、
コアラなど、多くの希少動物を飼育しています。その
一部の動物種は、国際種管理計画 (GSPM) という国際
的な繁殖計画があり、レッサーパンダもその一つです。

よこはま動物園ズーラシアでは、その計画に基づき今
和2年度からめらう (オス6歳) とキウ (メス7歳) の新
たなペアでの繁殖に取り組み、令和4年7月にこのペア
の間に2頭の新たな命が誕生しました。現在、キウが自
らの手で育て、順調に成長しています。

今後も命をつなぐことでの種を「守り続ける」役割
を担い、遺伝的多様性の維持に寄与していきます。



灰子の子ちゃん (生後12日)



母親のキウと灰子の子ちゃん

野毛山動物園 なかよし広場 『ふれあい体験』



予約はこちら



よこはま動物園ズーラシア

所在地	加地区上白根町1175-1	休園日	火曜日、12/29~1/1、1/4
アクセス	京浜東北線「新横浜」駅北口から	入園料	172円 (3歳未満)
駐車場	有 無料2200台	開園時間	9:30~16:30
		(入園は16:00まで)	
		問合せ先	045-959-1000

『よこはまのどうぶつえん・横浜市繁殖センター』 『公開飼育研究会』

(詳細は後日公式ホームページでお知らせします。)

野毛山動物園

所在地	西区桜木町63-10	休園日	月曜日、12/29~1/1、1/4
アクセス	JR・市営地下鉄「桜木町」駅から	入園料	172円 (3歳未満)
駐車場	無し	開園時間	9:30~16:30
		(入園は16:00まで)	
		問合せ先	045-231-1307

金沢動物園

所在地	金沢区金沢市東5-15-1	休園日	月曜日、12/29~1/1、1/4
アクセス	京浜東北線「新横浜」駅北口から	入園料	172円 (3歳未満)
駐車場	有 無料1200台	開園時間	9:30~16:30
		(入園は16:00まで)	
		問合せ先	045-783-9100

動物園の4つの役割 シールラリー

横浜の3つの動物園をめぐるシールラリーを集め、
シール一枚を完成させるには各動物園のシールを
集める必要があります。

開催期間: 令和5年 1/7(土)~2/26(日)

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況や天候等により、イベント内容の変更または中止の場合があります。

インド・ムンバイ市と横浜市の緑の交流

(ムンバイ市動植物園管理責任者)

2022年は、インドと日本の外交関係樹立70周年にあたりました。横浜市と姉妹都市であるムンバイ市の動物園・日本庭園を通じた交流についてご紹介いたします。

インドと日本の友好関係は、ヒन्दウ教と仏教・神道の共通点、19世紀の外交航路開設による綿花貿易の開始にまつわる、精神的な親和性と文化・文明の結びつきに根ざした長い歴史があります。

インド西部の港町でインド最大の経済都市であるムンバイ市は、横浜市と1965年に姉妹都市提携しました。インド準備銀行や日本企業を含む多数の他国籍企業、日本総領事館も所在しています。

ムンバイと横浜は緑の交流として、横浜市が160年の歴史をもつヴィールマタ・ジヤバイ・ジャマ・ボーサル・ウディアン(通称ラニバグ)動植物園に資金援助をくださったお礼として、ムンバイから、1985年、金沢動物園にソウ2頭を寄贈しました。同年、横浜からは「横浜日本庭園」を寄贈いただきました。1990年代にも、金沢動物園からタンチョウヅルとオオカンガルーを寄贈いただき、ムンバイからはインドガビアル2頭を野毛山動物園に寄贈しました。

さらに、ムンバイ市では、横浜国立大学名誉教授・宮脇昭先生の植栽技術「宮脇方式」を活用して、これまでに約40万本の植林を行い、緑化を通じた環境改善に取り組んでいます。

このように横浜と繋がり深いムンバイとラニバグ動植物園・横浜日本庭園を是非訪れてください。お待ちしております。



金沢動物園に寄贈したソウ2頭



横浜日本庭園



ムンバイ市の高層ビルを背景にした横浜日本庭園風景

問合せ先: ムンバイ市動植物園管理責任者
ジーンデラ・パルデシ氏 (Jeetendra Pardeshi)
メール: jeetendra.pardeshi12@gmail.com

暮らしに みどりを

第5回

「暮らしにみどりを」では緑を気軽に楽しむ生活をテーマに植物や園芸に関する豆情報をお伝えします。

point

おうち園芸: 花をたくさん咲かせるために

花をきれいに、長く楽しむためにはコツがあります。日ごろの簡単なお手入れ方法をお伝えします。冬の花壇作りにもチャレンジしてみませんか。

花がら摘み

花が終わると種をつけるために沢山の養分が必要になります。咲き終わった花をそのままにしていると、次に咲こうとしていた蕾に十分な栄養がいかなくなり、花付きが悪くなったり、株の寿命が弱くなってしまいます。咲き終わった花はこまめに摘んでおきましょう!



切り戻し

伸びすぎた莖や枝を短く切り切めて、植物を再生するテクニックです。開花期間の長い草花や生え過ぎってしまった植物に対して行います。元気がなく、花数が減ってしまった草花を思い切って切り戻すと、切ったところから元気のよい脇芽が出てきてまたきれいな花を楽しめるようになります。



基金 だより

「よこはま緑の街づくり基金」は横浜市内の民有地の緑化を市民の皆様の手によって進めるために市民・企業・団体等からの寄付を積み立て、その運用益で市民の皆様の緑化活動を支援しています。

令和4年8月1日～令和4年10月31日に寄付をいただいた団体(順不同、敬称略)

【寄付団体】

マイウェイプラスGチーム、株式会社アドバンス・ジェイ、あったかや、花やぐま助成事業利用団体の皆様、市内募金箱ご協力の皆様

区役所等に募金箱を設置しています。



令和4年10月31日までの積み立て総額は2,697,774,709円です。

募金の果実(利息)は、市民の皆様緑化活動に活かされています。よこはま緑の街づくり基金にご協力をお願いします。

(ご寄付は税制上の優遇措置が適用されます)

【緑化支援内容の一例】令和3年度実績



生垣 6軒 52.7m



記念植樹 1本



花苗 101,795鉢、球根 21,889球、種袋 4,487袋 (のべ1,046団体)

- 寄付金の振込先
横浜銀行本店 普通通No.0381642
受取人: (公財) 横浜市緑の協会
- 問合せ先
(公財) 横浜市緑の協会 緑化推進課
TEL.045-228-9470 FAX.045-641-0821



季刊誌みどり 冬号 2023年1月1日発行

編集発行/公益財団法人 横浜市の緑の協会 〒231-0021 横浜市中区日本大通58 日本大通ビル2階

TEL: 045-228-9420 FAX: 045-680-2031

デザイン/株式会社クレコミックス 印刷/善友印刷株式会社



季刊誌みどりについて、アンケートを実施中です。QRコードを読み取り、皆様の声をお聞かせください。